

コーポレート・ガバナンス

投資分野では「ESG」のくくりがありますが、当社はE(環境)とS(社会)は同列であり、G(ガバナンス:企業統治)はEとSの活動を遂行する上での基盤であると捉えています。当社は全従業員が社会との共存共栄、持続可能な成長を目指して一体となった活動に取り組むため、より強固なガバナンス体制の構築を進めていきます。

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社ではコーポレート・ガバナンスを経営上の重要課題の一つとして捉え、経営の効率化・意思決定の迅速化、経営監視機能を充実させるための各種施策に取り組んでいます。

また、「内部統制システム基本方針」に則り、企業価値の向上に向け効率性と統制バランスを取りつつ、当社に相応しい内部統制の構築を目指しています。

企業統治の体制

(1) 取締役会他

取締役会は8名の取締役、2名の社外取締役および4名の取締役監査等委員で構成されています。意思決定機関である取締役会および常務会は、会社全体の経営課題について討議、審議、決定をしています。また、取締役および各部門長で構成される事業幹部会議が毎月定期的に開催され、事業運営の効果的な展開を推進しています。

(2) 監査等委員会

当社は会社法に基づき監査等委員会を設置しています。監査等委員会は、4名の取締役監査等委員で構成されており、そのうち3名が社外取締役です。

(3) 指名報酬委員会

当社は、取締役会の任意の諮問機関として、指名報酬委員会(以下、本委員会という)を設置しています。

本委員会は社内取締役1名、社外取締役2名の計3名で構成されています。

2024年2月と4月に開催され、取締役候補者をはじめとした次期役員体制の答申案、取締役の業績連動部分の報酬も含めた個別の報酬額の答申案などについて策定し、取締役会に上申しました。

取締役一覧

役職	氏名	担当
代表取締役社長	加藤 大輔	技術戦略推進室
常務取締役	梶原 久	塗料事業部長、関連会社(塗料事業三販社)
取締役	高野 雅広	佐野事業所長、環境安全部、輸出管理室
取締役	渡邊 聡	鷲宮事業所長、化成品事業部長、品質保証部
取締役	川口 浩俊	コーティング事業部長、関連会社(海外)
取締役	栗原 進	管理本部長、サステナビリティ推進部、関連会社(国内)
取締役	土谷 豊弘	管理本部副本部長、監査室
取締役	石井 貴宏	電子材料事業部長、関連会社(合成樹脂事業)
社外取締役	長浜 洋一	
社外取締役	川井 克之	
取締役監査等委員	渡邊 博明	
社外取締役監査等委員	中 光好	
社外取締役監査等委員	渡邊 孝	
社外取締役監査等委員	妹尾 智子	

2023年度に取り組んだ事項

(1) 政策保有株式の縮減

昨年度に引き続き、政策保有株式について、その保有目的が適切か、保有に伴う便益やリスクが資本コストに見合っているかなど、事業環境の変化なども踏まえ見直しを行っています。

継続して保有する必要がないと判断した株式については売却を進めるなど、政策保有株式の縮減に努めています。

(2) 2024年3月期の有価証券報告書への記載事項対応

2024年3月期有価証券報告書に記載のサステナビリティに関する考え方および取り組みについて次の2項目の対応を進めています。

1. 気候変動への対応(TCFD提言に基づく情報開示)
2. 人的資本・多様性

(3) 取締役会のスキルマトリックス

スキルマトリックスとは、取締役が保有しているスキルを一覧にまとめたものです。当社においては各取締役が保有するスキ

ルを明確にし、多様性の確保に努め、今後もステークホルダーへ情報開示を行います。

取締役会のスキルマトリックス

氏名	企業経営	事業戦略	技術・製造	グローバルリーダーシップ	財務・会計	法務・コンプライアンス	他業種知見	ESG社会貢献
加藤 大輔	○	○		○				
梶原 久	○	○		○				
高野 雅広		○	○					○
渡邊 聡		○	○					○
川口 浩俊		○		○				
栗原 進		○			○	○		
土谷 豊弘				○	○	○		
石井 貴宏		○		○				
長浜 洋一	○	○			○			
川井 克之					○	○	○	
渡邊 博明	○					○		○
中 光好	○	○					○	
渡邊 孝					○		○	
妹尾 智子					○		○	

※各取締役候補者に特に期待する分野を最大3つまで記載しています。

各スキル項目の採用理由

企業経営・事業戦略	企業におけるマネジメント経験・経営実績が必要である。また、当社の企業価値向上のため成長戦略策定のスキル・知見が必要であるため。
技術・製造	新技術開発により培ってきた豊富な技術知見や人や環境にやさしい製品づくりに関するスキル・知見が必要であるため。
グローバルリーダーシップ	当社のグローバル展開の成果を最大化するために、海外子会社での代表者やそれに準じる経験があり、海外での事業マネジメントのスキル・知見が必要であるため。
財務・会計	当社資本の効率的な運用による企業価値最大化のために、強固な財務基盤構築、成長投資の推進と株主還元強化を実現する確かな財務・資本戦略策定に関するスキル・知見が必要であるため。
法務・コンプライアンス	当社がグループ全体での経営監督の実効性向上のためにも、法務的知見およびリスク管理分野でのスキル・知見を持つことが必要であるため。
他業種知見	他業種知見者の意見を聞き、企業や組織の枠を超えた知見を得ることが多様性の観点からも必要であるため。
ESG・社会貢献	この分野でさらなるスキル・知見の向上が必要であるため。